

がくしゅうかだい（1ねんせい）

【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

<べんきょうすること>

◆「なんて いおうかな(きょうかしよ 18～19ページ)」をがくしゅうします。

(1) えをみて、こどもをひとりえらびます。そのこが、どんなことをいつているか、かんがえてみましょう。

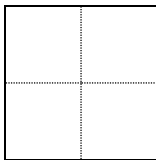
※がっこうのせんせいやおともだちになんていうかをかんがえてみましょう。

(2) がっこうで、おともだちとやってみるまえに、おうちでれんしゅうしましょう。

◆129～130 ページにのっている ひらがなのひょうをみて、じぶんのなまえをれんしゅうしてみましょう。

※かきじゅんどおりに、かいてみましょう。

※とりくみシートや、ノートのます（しかく）から、はみださないようにかいてみましょう。



ます（おおきいしかく）のなかは、4つのちいさなしかくにわかれています。4つのちいさなしかくのどこにもじのせんがはいるのか、よくみてれんしゅうしてみましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆「なんて いおうかな」では、学校の中の様々な場面でのやり取りの仕方を考えます。

・挿絵の中の子どもを一人決めて、話すことを考えさせてあげてください。「この人は、何と言っているでしょう？」と尋ねてあげる方法もあります。お子さんがどんなことを話すとよいのか困っている時は、お家の方が考えた言葉を真似して話すことでもよいことを伝えてあげてください。

・「職員室」「保健室」など、大人とやりとりをしている挿絵がいくつかあります。「～です。」や「～ます。」を使った言葉のやり取りができた場合には、大いにほめてあげてください。ていねいな言葉で話すことの楽しさを感じることができます。

《やり取りの例》

P19 上段のイラスト

- ・しつれいします。
- ・〇〇先生は、いらっしゃいますか？

P19 中段左のイラスト

- ・〇〇さんが、グラウンドで転んでしまったので、見てください。
- ・ひざが、ひりひりしてたいです。
- ・見てくれてありがとうございました。